

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

June 2024

Écoutez Bien Vol.40 No.471

6

海上保安庁 新所長はこんな人



表紙 / 丸屋本店 伊藤家三代 (立川で三代 再び)



入船茶屋



上うな重 お吸い物、お新香付き

おうちで美味しい立川の味

お寿司、うなぎ、懐石膳といえば入船茶屋
見事なお寿司盛り合わせ

時間を気にせず、自宅でゆっくり味わいたいと思ったら
入船茶屋に相談です。

愛知県一色産のうなぎが美味しいのはもちろんですが、
さすがお寿司屋さん。

お米が美味しい! ほかほかご飯、うなぎと一緒に頂きます。

今日はお寿司をと思うなら、にぎりでもちらしでも、盛り合わせでも。
どれもこれも、お寿司のネタが宝石のよう! 思わず手が伸びてしま
います。

懐石膳には酢の物や天ぷらも入っています。茶碗蒸しも温かいまま
届きます。

宅配で美味しい立川をぜひ!



お寿司盛り合わせ 琥珀



特上にごり お吸い物つき



懐石膳 華巖 お吸い物、茶碗蒸し付き



カニサラダ

入船茶屋

立川市柴崎町2-2-26

TEL 042-524-6266

フリーダイヤル 0120146266

営業時間 10:40~20:00

ご注文を受けてからお作りします。

時間に余裕をもってご注文ください。

内容は時期によって変更される場合もあります。

宅配は2人前から承ります。

『海猿』出身、内閣官房



新・海上保安試験研究センター所長はこんな人!

気さくに話してくださるけれど、
終わってみれば、すごい人が来たもんだ、という印象
海のない立川でこれから何をしてくれるのか、とても楽しみ



ネットでも公開しています

——「久木正則」と検索すると生成AIがプロフィールを作ってくれるんです。久木さん、すごい方ですね!

久木 いや、田舎もんです。呉に近い江田島の出身ですから。島育ちです。普通に高校を卒業して普通に大学へ行く予定でしたが、高望み過ぎて全部落ちて、すでに一浪していましたからね、親が近くにある海上保安大学校はタダだから、口減らしじゃないけど受けろというので受けたら受かっちゃって。バブル前夜のような時期でしたから公務員人気なんかまるで無い時代でした。

——初任地はどちらですか。

久木 境港です。私はジャック=イヴ・クストーの海洋冒険譚みたいなのが大好きで、海で働くんだったらこういう海の神秘を探る、そんなことをしたいなと思っていました。海上保安庁はまったく違い、レスキューになるのですが、

でも潜水はやりたくてそれを希望しました。

全国一管区に一隻くらいずつしか潜水士の乗っている船はなく、広島から近い所だと鳥取県の境港に潜水士の乗る救難強化型巡視船というのがあって、そこに配属になり潜水士になれたわけです。映画『海猿』以降は潜水士になりたくて海上保安庁に入る人が増えました。でも私の入った頃は、なぜあんなに辛いことをしなければならぬのか、という時代でした。

——訓練の映像を見ていると命がけですもんね、辛そう。

久木 私も辛いことがしたいのではなく、海の神秘を知りたいという所から来ていますので。潜水士の船に乗らないと潜水研修に行けなくて、だから乗って、呉にある海上保安大学校の潜水課程に進んで、それからまた船に戻って境港で潜水士をやっていました。レスキューと事件捜査ですね。海に潜って調べたり、海に捨てられたものの堆積物調査とか。そういうことは潜水士の仕事です。

——境港からどちらへ。

久木 なんと羽田の特殊救難隊に行きました。1年間研修を受けて、2年目で隊員、3年目に副隊長、それから隊長を3年やりました。特殊救難隊というのは、全国に警備も含めて潜水士がいる中で、彼らにはできないもっと高次のレスキューを担当します。

——精鋭ですね。

久木 まあ精鋭です。病気もせず怪我もせず満期まで務めることができました。

——潜水士と機動救難士、火災、危険物対応など、高度な知識・技術を必要とする海難救助のスペシャリストだそうですね。満期まで務めるってものすごいことだと思います。

久木 病気も怪我もせず務められたことがね。隊長までやると普通は霞が関の本庁へ行きますが、なぜか呉の大学校の訓練教官になりました。武道の先生もやりますんで、道着に竹刀なんか持ってやってきました。で、また境港にもどって、潜水士の乗っている巡視船のテコ入れのために、私のように特殊救難隊を出た人間を1人ずつ配置するというので、同じ救難強化型巡視船に赴任しました。首席機関士という立場に戻りました。船員として仕事をしながら、何かあったらウエットスーツに着替えて潜る。事件があったら捜査官に、火災船があれば消防士に、海のなんでも屋さんです。

ちょうどその頃、JICAの関係で東南アジアの技術支援をしていて、その境港にいる間に1か月半インストラクターでフィリピンに行き、戻ったら鹿児島に転動しました。第十管区保安本部の警備課で原発警備などを担当する専門官として赴任しました。

——めまぐるしい異動ですね。

久木 原発警備で船に乗り込むわけではなく、警備の要領を作る方で行っていました。そのあと、フィリピンに行ったのが思い出深くて(笑)、JICAの長期専門家という3年スパンの専門家がいます。それになりたいと思っていたら、たまたま国際組織犯罪対策基地という国境を超える犯罪を専門的に扱う部署があって、その情報管理部門に呼ばれました。本当にたまたまでした。

——久木さん、モノの言いようが謙遜だらけなのですが、やっぱり精鋭中の精鋭なんですか。

久木 でもね、大変だったんですよ。国際会

議に出席するために英語でプレゼン作ったり。海外に行きたいという希望は出していたのですが、翌年、韓国に行かないかと言われて。こういうのは適任者が行けるという話ではないんですよ。

——また、そんなことをおっしゃる。

久木 いえいえ、すべてタイミング。海上保安大学校ではロシア語、韓国語、中国語の話せる人を養成しています。同期にも韓国語を勉強した人間はいます。でもそういう対象者が家庭の都合とかで行けないということもあるわけです。それで翌年1年間、本庁のお手伝いをしながら外務省の研修を受けて韓国にいきました。当時は韓国大使館の領事部、ソウルにある大使館の中に領事部があって邦人救護をやっていました。レスキューだからいいじゃんなんて言われてね。ヨン様の頃でね、韓流ブームで猫も杓子も土日は韓国、みたいな時でしたから、結構トラブル対応は多かったですよ。そんなことを3年やっていました。私は第二外国語が中国語だったんです。漢詩とかの世界観が好きで。でも韓国に行って、すっかり韓国語になっちゃいましたね。そのあとは国際危機管理官付の専門官です。念願かなって東南アジア等途上国の支援担当になり、対象国がとて多くてフィリピン、マレーシア、インドネシアなどの他、アフリカも行きましたね。

——どちらへ。

久木 ジブチです。JICAのスタッフと一緒に行って現地の海上保安機関を調査して、今は軌道に乗っていますが、ジブチ沿岸警備隊はまだ掘り立て小屋みたいだった時です。大変でしたよ、1人だし対象国が多いのに加えて韓国担当もやれと言われて。前の年まで韓国担当がいたのですが、いなくなっちゃって。そんなことを2年間やりましたがめちゃくちゃ疲れちゃっ

久木正則さん

2023年10月から海上保安試験研究センター所長。1967年生まれ、広島県出身。海上保安大学校卒業後、境港が初任地。潜水士としてレスキューや事件捜査に従事した後、羽田の特殊救難隊へ。隊長になり満期まで務めて呉の海上保安大学校で訓練教官を2年。境港で首席機関士として救難強化巡視船「おき」に乗る。そこでの仕事はいわば「海の消防警察ミックス」。途中、東南アジア技術支援で短期間フィリピンに赴任。戻って鹿児島第十管区保安本部の警備課に。次に国際組織犯罪対策基地の情報管理部門に呼ばれ国際犯罪関連に従事、その後、韓国大使館の領事部に勤務。3年後に国際危機管理官付専門官としてJICAの各種プロジェクトに参画。その後、国の中枢を支える要職を歴任して、広島サミットなどを経て、第六管区総務部長から、立川へ。やわらかい表情と気さくな話しぶりが、魅力的。



て。翌年、救難課に席を移しました。救難課といっても救助するわけではなくて国際担当で、国際救難のシステムを作ったり書籍の編集したり。それを1年やりましたが、本庁に3年いたことになりさすがに本庁を出なければならなかった。

——ようやく立川ですか?

久木 この時点で家を買いました!国分寺に。その前は千代田区にある官舎で、周りにスーパーも何にもない!靖国神社しかなかったので、子どもの高校進学タイミングもあり、家を探し始めて西へ西へ。緑もゆかりもない東京の西の方へ。

——でしたら立川までくればよかったのに。

久木 ここまで自転車です。30分ですよ。国分寺に家を買いましたら横浜へ転勤。横浜にいる救難強化巡視船に機関長として1年いて、若い潜水士の面倒などみていたら、「あきつしま」という日本で一番大きい巡視船へ移れと。想像ですが、上皇様、上皇后様がパラオとフィリピンに慰霊の旅をされる、その支援船が「あきつしま」だったんですかね。急遽それに乗って、結局横浜には2年いました。横浜って一等地で希望も多いところですから、2年以上はいられない。そこで次は第三希望ですけど思い切った石垣と書いたんです。

——石垣、なぜ?

久木 基幹業務でこれだけ尖閣尖閣と言っている。石垣は最前線、防人みたいなものです。知らないと話もできないのでとりあえず行っておきたかったんです。手当もいいんです(笑)。2年いました。1年目は船の司令長、2年目は保安部次長。なんでも屋です。

——なんでもやれる方だから。で、立川ですか?

久木 いえ、次は内閣官房、情報調査室です。安倍さんが総理大臣で菅さんが官房長官の時

でした。その時に情報調査室に関する新書が発刊され「今の布陣はこうだ」みたいに実名が載ってしまったんです。それで生成AIの資料になってしまうんですかね。国際部門の担当をしていました。内閣府から次は福島へ。福島海上保安部長、いわき市の小名浜ですから、気候は北関東。雪は降らないし寒くはないし。東北の湘南とか言って平和なところでした。福島が1年で広島へ。第六管区の総務部長で2年半いました。

——半って、半年はなんですか。

久木 半というのは、たぶんですが、1年目に広島サミット誘致が決まって、2年目にサミットの準備があつて終わるまで半年延長ということになって、終わったのでこちらに来たのでしょうか。

——ようやく立川。海のない立川で、何をなさるのですか。

久木 ここは面白いです。なにをもって面白いというかですが。私は表舞台ばかりで裏方をやってきていない。サーカスの曲芸師みたいなことばかりしてきました。ここは切った張ったの現場ではなくて、まったくの異色の所です。試験センターも立川に来て30年経ちます。ここを今後どうしていくか、ということですね。鑑定や分析業務を粛々と、ではいけないと思いません。新しい分野の開発や、若い人にも来てもらわなければならないので、そこを考えていきたいと思っています。私自身はライフワークバランスをしっかりとって、帰って運動したりと充実しています。

——ここ、食べる所もありませんが、お昼はどうされているのですか?

久木 玄米おにぎり1個とカップスープです。



ネットでも公開しています

『ようこそ、北極へ!』

北極域研究加速プロジェクト (ArCS II) イベントシリーズ ～国立極地研究所～

立川に身を置く特権。年間通して、北極の今・地球の今を知るチャンス。
北極の急激な変化は他人事ではありません。

北極域研究加速プロジェクト (ArCS II) は、2020年6月から2025年3月まで実施する研究プロジェクトで、国立極地研究所、海洋研究開発機構、北海道大学の3機関が中心となって全国の大学や研究機関と協力して進めています。北極は地球温暖化の影響を最も大きく受けている地域で、北極域の自然環境の急激な変化は、日本を含めた地球全体の環境や人間生活に影響を与え始めています。サイエンストークやワークショップで、地球の現状を少しでも知っていきませんか。(以下のイベントラインナップは6月以降について記述してあります)

白い虹_2023おしよ丸北極航海 (池上隆仁)

イベントラインナップ

1) サイエンストーク

※国立極地研究所ウェブサイトからの事前申込制です

日時	テーマ	タイトル・内容 (仮)	講師	対象 (推奨)
6/15(土) 14:00-16:00	海洋	「北極海にひろがるプラスチック汚染」	池上 隆仁 (海洋研究開発機構)	高校生以上
8/10(土) 14:00-15:30	先住民	「-40℃の世界にくらす人々」	大石 侑香 (神戸大学)	高校生以上
9/28(土) ※国立極地研究所一般公開の一部として実施	雪氷・先住民	「グリーンランドの氷河の変化と人々の暮らし」	ArCS II 研究者 (国立極地研究所ほか)	高校生以上
10月～11月のいずれかの土曜日 ※調整中	永久凍土	「永久凍土が融解すると人々の暮らしはどうか?」	飯島 慈裕 (東京都立大学)	高校生以上



サイエンストーク (国立極地研究所)



シベリア・先住民のトナカイ飼育 (大石 侑香)

サイエンストーク以外にも、2)小中学生向けワークショップ・実験室、3)企画展示 など行われます。
これらのイベントについては、事前申し込み制のものもありますので、詳細は国立極地研究所のWEBサイトでご確認ください。



バンドー神戸青少年科学館での企画展「キョクホク (大石 侑香)



写真展「ニーオルスン基地ってどんなところ?」(国立極地研究所)



ニーオルスン観測村 (国立極地研究所 撮影:松下 隼士)



ニーオルスン基地_オーロラ (国立極地研究所 撮影:松下 隼士)



グリーンランド・現地の人々の伝統的な文化を支えるアゴヒゲアザラシ (目下 稔)



ホッキョクグマ (山口 一)



永久凍土 (矢吹 裕伯)



シベリア・永久凍土が融ける影響などを調査 (飯島 慈裕)

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 富士見町・緑町・泉町・西砂町・一番町・上砂町
砂川町・柏町・幸町・若葉町・栄町・高松町のお店です。

- 富士見町**
 - 立川松栄寿司 524-6958
 - ふじみ食堂 523-4791
- 緑町**
 - 多摩信用金庫 本店 526-7700
 - GREEN SPRINGS info 524-2222
 - Adam's Awesome Pie 595-8375
 - 国立国語研究所 540-4300
 - 国立極地研究所 512-0652
 - 南極・北極科学館 512-0910
 - 国文学研究資料館 050-5533-2900
 - 花みどり文化センター 528-1751
 - 昭和天皇記念館 540-0429
- 泉町**
 - インヴォラーレ・ルーデンス
blooming bloomy 5らぼーと立川立飛 548-1215
 - 海上保安庁海上保安試験センター 526-5630
 - Café はあもにい 512-7810
 - 大和ハウス工業(株) 東京西支社 525-1821
- 西砂町**
 - 砂川庵 甚五郎 531-6788
- 一番町**
 - 私立立川ひかり保育園 531-1273
- 上砂町**
 - B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250
 - fresh shop スーパーはしもと 536-2331
- 砂川町**
 - ファーマーズセンター みの一れ立川 538-7227
 - 陶工房 己流庵 537-6102
 - 多摩信用金庫 砂川支店 535-4411
 - 珈琲豆焙煎工房 まめ吉 535-1070
 - BREAD & Sweets マニエール 537-2202
- 柏町**
 - 山梨中央銀行 立川支店 536-0871
 - 株式会社 セレモア 534-1111
 - パワー軒 535-1665
 - H.works 537-7763
 - ペーカリー リオンドール 535-4882
 - (有) まつい測量 534-4411
 - ピーコック 玉川上水店 538-3861
 - 菅家医院 536-4602
- 幸町**
 - いなげや 立川幸町店 537-1820
 - 多摩信用金庫 幸町支店 535-5311
 - 中国料理 SANFUJI 536-3813
 - 西武信用金庫 幸町支店 537-3101
 - お米屋さん 大黒屋 536-0851
 - 松浦商事株式会社 535-6001
 - 至誠キートンホーム 538-2323
 - とんかつ・割烹 かつ亭 535-4611
 - ドイツ製法ハム・ソーセージ・ソーホーフ工房 535-5009
 - 和洋菓子 たちばな 537-0347
 - 青梅信用金庫 玉川上水支店 535-3411
 - BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912
 - 古楽の小屋 ロバハウス 536-7266
- 若葉町**
 - スーパー ヤコー 538-1711
 - ありた整骨院 534-1622
 - カフェ タイニーガーデン 507-1346
 - カフェ・レストラン てくたく 536-5788
- 栄町**
 - 多摩信用金庫 栄町支店 536-9711
 - いなげや 立川栄町店 523-7201
 - チーズ王国 本社 513-4101
 - 彩食中華 須崎 507-0981
 - 寝具の石川 524-1333
 - 手作りパン工房 Bonheur~ポヌール~ 536-3207
 - メンズカット ヤザワ 536-8738
 - (株)立飛ホールディングス 536-1111
 - 大型コインランドリー マンマチャオ栄町店
- 高松町**
 - 立飛麦酒醸造所 527-1894

街の話題

掲載しきれなかった写真などはQRコードからどうぞ



緑化まつり

雨にならず暑くもなく、いいイベント日和でした。4月21日砂川町の一れ立川北側の広場で開催された「緑化まつり」。まったりゆったりイベントでしたが、店内には旬の新鮮食材がたくさんあって、外でも中でも楽しめました。人気はお花の無料配布。朝から何度も並んでいる方もいらっしゃいましたよ。



緑化まつりらしく、ハンギングバスケット作りの講習



お店の中の旬はこれ!



お花の無料配布

Aloha Hawaiian Festival

すっかり定着しました。GREEN SPRINGSの(Aloha Hawaiian Festival)。大型連休前半の4月27日~29日、多くの方が来場しました。27日の前夜祭、メレフラ・パーティーは大盛り上がり。開場のステージガーデンで沢山の方が一同にフラダンス。同じ曲で踊っても、流派というかルーツが異なると踊りが違うんですね! 29日にはウクレレ奏者レジェンドの高木ブーさんが演奏。こちらも芝生広場が満席でした。それにしても、フラ人口って多いんですね。



踊っても踊らなくてもみんな楽しいメレフラ・パーティー



オーシャンステージに出演した沢山のユニットから「スワパー」さん。諏訪通り商店街、堤屋の女将さんが、中央の黄色い衣装です。



中央が高木ブーさん 91歳 戦後、立川飛行場からまだアメリカだった沖縄へ、軍票(身分証明書)を持ってバスくらいの飛行機で行ったエピソードを披露してくれました。

美しく、立川フラメンコ

連休のお楽しみはこれです、立川フラメンコ。5月3日、錦町すずらん通りでストリートフラメンコ。もちろん2日の前夜祭や出前フラメンコなどイベントはありましたが、なんといっても日本全国、海外からも集まって来たダンサーが賑やかに踊るストリートフラメンコは圧巻です。今年もいいお天気の下、皆さん美しく舞っていただきました。



すずらん通りはダンサーでいっぱい



衣装もすてきです



見ている方も楽しいけれど、踊っている人が一番楽しそう

高校生乗車型ミニ鉄道フェスティバル in 立川立飛2024春

長いイベント名です。入場無料で、ドーム立川立飛横の空地で行われました。高校生が線路を敷いてミニチュアの電車を走らせます。立川からは昭和第一学園高等学校自動車部が参加。乗りたい子どもたちが長い列を作っていました。周囲のテントに目をやると、JR東日本グループ、銚子電気鉄道、多摩都市モノレールなどが出店し、それぞれ特徴あるグッズ展開をしていました。モノレールが立飛駅に到着する度お客さんがやってきます。長いイベント名だからこそ、看板があったらもっとよかったかもしれません。



高校生たちが電車を走らせます



電車に乗りたい子どもたちの長い列 ジオラマもあります



将棋も盛んな立川です

王将戦が行われる立川ですから、将棋イベントも面白い。5月5日、子どもの日にGREEN SPRINGSで「こども将棋塾」が開催されました。小学生限定で午前、午後と25人ずつ。指導対局してくれるのは伊藤真吾六段、石田直裕五段、鈴木環那女流三段のプロ棋士3人。少し暑かったけれど、緑の中で気持ちのいい将棋塾でした。驚いたことに、子どもたち、本当に将棋がよくわかっていて、うまい所に指すのです。見ている方も楽しいイベントでした。



指導対局の様子



青空対局指導はここで行われました



指したいところが手が届かない。子どもが指す度に、伊藤六段が「うまい!」と声をあげていました。

表紙

良三さん やすらかに(錦町)

令和6年4月12日、『立川で三代』のテーマで再びの撮影でした。平成27年5月号の表紙になっていただいた時から9年。良三さんのご希望で、同じ時期に同じようにお節句のお飾りをして撮影しました。顔色も活舌も良く、周囲に気を配る姿がいつも通りだったので、よもや3日後に逝去されるとは思いませんでした。記憶も話もしっかりしていて、笑顔でポーズをとって、五月晴れの日に立派な伊藤家三代の写真ができました。9年前には駿君ひとりだったお孫さんが、この度は4人に。撮影後、お孫さんたち一人ひとりの名前を呼んで、「ありがとうね」と声をかけていた良三さん。きっとモデルになって座っているだけでも大変だったでしょう。それなのに満面の笑顔を見せてくださった。良三さん、最期まで本当にありがとうございました。

かたこと

◆えくてびあんは6月号になりました。能登半島の地震や飛行機の事故に始まった令和6年も半年過ぎようとしています。世界の紛争もまだまだ終わりが見えず、地震後の復旧復興にスピード感が感じられない。世界中の人たちが、いろいろな意味で幸せに暮らせる日が来ることを祈るばかりです◆海保試験研究センターの久木所長には、ご自身のことをお話していただきました。いろいろなご経験を重ねて来られた久木所長が、どんな風にセンターを変えていくのか、本当に楽しみです。試験研究センターは海の科捜研と言い換えればわかりやすい。詳しく知りたい方は海上保安庁のYouTubeチャンネルをご覧ください◆「立川の売り」ってなんだらうと考えることがあります。「ウド」と即答する方が多いかもしれませんが、緑化まつりでウド組合の皆さんと話してみると、「いつまでウドと言っているかわからないよ」と。生成AIは立川を「文化のまちとして注目されている」としています。おススメの観光ポイントは国営昭和記念公園。納得です。神社や大型商業施設に加えて防災館や南極・北極科学館なども登場します。メディア露出度が高いと生成AIの資料になるのかもしれませんが。立川をもっと広く知ってもらいましょう! えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©

6月号 第40巻 通巻471号

令和6年6月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・編集 えくてびあん編集スタッフ
写真 五孝孝平・鎌田美利子
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 ダイオームウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

中島豆腐店



えくてびあんの写真から

2002年3月号に掲載した一連の写真の中の一枚。栄養価高い豆腐がメインの記事で、中島豆腐店と一緒に、ラッパを吹いて自転車で街を回っていた山越豆腐店も掲載しました。中島さんにはこの後も「立川で三代」の表紙や、「羽衣ねぶた」のインタビューや、本業豆腐屋さんの記事やらで、何度もお世話になりました。豆腐屋さんは2019年9月30日に閉めました。立川の豆腐屋さん、減りました。でも、何店舗かは健在です。八百屋さんとか米屋さんとか、魚屋さんとか肉屋さん、荒物屋さんとかが軒を連ねて商店街が成り立ちます。大きな商業施設は現代の商店街。考えようによってはスーパーも形を変えた商店街なのかもしれません。時代の流れは、モノの在りようも言葉も変えます。懐かしむのもいいけれど、これからを愉しむのもいいですよ。

ところで、中島さんご夫妻、今も22年前とまったく変わらない。お豆腐効果かな。

